

医療法人社団淀さんせん会

金井病院

魅力発信経営報告書



目次

理事長のあいさつ	1
医療法人淀さんせん会の事業概要	2
金井病院の構造資産	3
淀地域にある唯一の2次救急病院	4
急性期から慢性期の入院まで	4
豊富な専門的医療を提供しています	6
金井病院の経営者・管理者はこんな人	7
住み慣れた地域で安心と信頼の医療を提供（人的資産）	8
病院理念の実践する若きリーダー	9
独自の地域健康増進活動を創造する医師やスタッフ	10
チーム医療を担う人材たち①看護部門	11
チーム医療を担う人材たち②リハビリテーション科	12
チーム医療を担う人材たち③放射線科、臨床検査科、地域連携室、医事情報センター	13
チーム医療を担う人材たち④薬剤科、病院栄養科	14
金井病院グループの関係資産	15
金井クリニック	17
訪問看護ステーション『ひだまり』	18
居宅介護支援事業所『ひだまり』	19
ヘルスプロモーションセンター	20
デイサービスセンター『愛会（あいあい）』	21
サービス付き高齢者向け住宅『それいゆ』	22
金井病院の沿革（開業から現在まで）	23
金井病院の沿革（現在から未来へ）	23
知的資産マップ	24
あとがき	26

理事長のあいさつ

京都の南の玄関口、淀地域。かつては淀城の城下町、淀川水運を担う港町として栄え、現在は京都競馬場で賑わう「この町」に金井病院があります。「この町の病院」として35年、地域に支えられ、地域住民の方々とともに歩んできました。

故・金井武雄前理事長の理念を引き継ぎ、私が理事長に就任した2007年からは、超高齢社会を迎える新時代のニーズに応えるべく、「在宅医療」「救急医療」「予防医療」の3本柱を重点項目と新たに位置づけ、職員一同、鋭意取り組んでいるところです。私どもは、入院・通院中の患者様はもちろんのこと、ご自宅や介護福祉施設で生活しておられる方々の健康にも目を配り、こちらから足を運んでお役に立ちたいと考えています。あらゆる健康相談の総合窓口として、「地域住民の皆様に、安心とともに“生きがい”を提供したい」それが当院の変わらぬ願いです。

この「魅力発信経営報告書」は、創立35周年という節目の年にあたり、当病院グループの「魅力」を、各部門の声を集めてここにまとめ、発行するものです。本レポートを通じて、地域住民の皆様、関係各所の方々はもちろん、外部の方々にも広く金井病院グループのことを知っていただき、今後の病院運営と地域医療の充実にますますのご指導、ご助言を賜れば幸いです。



金井 伸行
医療法人社団 淀さんせん会 金井病院 理事長

基本理念

私たちは、地域住民の皆様に、人間愛に根ざした良質な医療を提供します。

基本指針

1. 良質で安全・安心な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者様の信頼・安心を得るよう適切な診断と治療を心がけます

2. 患者様を中心とした医療

私達は患者様の人格・権利を尊重し、十分な説明と理解・同意（インフォームド・コンセント）にもとづく医療を行います

3. 地域との連携協力

私達は地域の医療ニーズに応え、地域の介護福祉や他の医療機関との密接な連携協力を大切にします

患者様の権利尊重と責務

- 平等公平に適切な医療を受ける権利
- 人間としての尊厳を尊重される権利
- プライバシーと個人情報の保護を受ける権利
- 医療について、十分な情報提供を受ける権利 -わかりやすい言葉で理解できるまで-
- 医療や治療法を選択・決定する権利 -自己決定権-
- セカンドオピニオンを受ける権利 -他の施設や医師の意見をきく-
- 自分の健康情報を正確に提供する責務
- 積極的に治療に協力する責務
- 遵守すべき当院の規則に従う責務

医療法人社団淀さんせん会の事業概要

淀の地域住民の皆様が身近な場所で、小児から高齢者まで、内科、小児科、整形外科、外科を中心として総合的医療を提供しています。24時間365日の救急体制をとっており、急性期の入院から、慢性的な入院まで、できるだけ転院せずに、地域のなかで医療と介護サービスが受けられることを目指しています。



事業開設者名	金井 伸行
院長名	三浦 清司
所在地	京都市伏見区淀木津町612-12
電話番号	075-631-1215
FAX	075-632-2658
病床数	158床（一般114床 療養44床）
診療科目	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・肛門科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
専門外来	漢方外来・もの忘れ外来・禁煙外来・生活習慣病外来・女性外来・鼓膜再生医療・ボイスクリニック等
関連施設	デイサービスセンター「愛会」
	「金井クリニック」
	訪問看護ステーション「ひだまり」
	サービス付高齢者向け住宅「それいゆ」

金井病院の構造資産

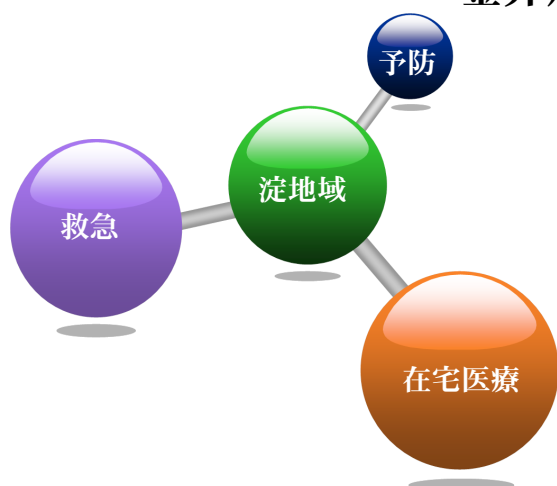
構造資産とは、組織の持つ定着した理念、仕組み、構造物などをいいます

創業からの病院理念が共有されている

当病院は、初代理事長の金井武雄により、淀地域の方々が健康で暮らし続けられることを理念として掲げてきました。2代目理事長のもと、高齢化が進む中でも地域で安心して暮らし続けられることを願って、救急医療とともに在宅医療、予防医療を柱として、地域に安心と生きがいを提供することを、全職員が共通の願いとしています。

淀地域で救急、在宅、予防医療の3つの柱を提供する唯一の病院

金井病院グループ



- 救急医療の提供
内科、外科系の救急対応
急性期の入院医療の提供 等
- 在宅医療の提供
金井病院（在宅療養支援病院）在宅ケアセンターによる24時間365日の診療提供体制
訪問看護ステーション「ひだまり」による24時間365日の診療提供体制
- 予防医療の提供
ヘルスプロモーションセンター（健診）による人間ドック、京都市住民健診、乳がん検診、巡回健診などを実施
産業医による企業内健診など

人が働きやすい職場づくり

- 子育て支援制度、産休、育休、
- 勤務変更など柔軟な対応と相談
- 各職場で工夫されたスキルアップ研修
- 部門を越えた良好なコミュニケーション等

子育て支援制度：小学校入学までのお子様がいる看護職員に、支援金を支給する制度です。当院に勤務する常勤看護師・常勤准看護師、および8：30～17：00で週4日勤務するパート看護師・パート准看護師が対象です。

＜子育て支援金の支給金額＞

常勤・・・乳幼児1人目	30,000円／月	2人目以降	15,000円／月
非常勤・・・乳幼児1人目	20,000円／月	2人目以降	10,000円／月



淀地域にある唯一の2次救急病院

京都市、久御山町、長岡京市、八幡市に挟まれた淀地域で、24時間365日の救急に対応している病院は当院だけです。

救急センターでは、24時間365日、内科、外科、整形外科、小児科の医師が待機しています。ケースにより、高度医療機関へ転送する場合があります



救急受診に関する、よくある患者様からの問い合わせ内容

Q: 朝の診察を受けたのですが、帰宅後、また具合が悪くなりました。明日まで待った方がよいでしょうか？

A: 24時間体制で救急担当医が待機しています。具合が悪くなった場合は、いつでも受診して下さい。

Q: いつもは他の診療所に通院していますが、時間外に、母の具合が悪くなりました。金井病院で診てもらえますか？ また元の先生に診てもらってもよいでしょうか？

A: 救急担当医で対応させていただきます。病状等が落ち着けば、かかりつけの先生へ当院での治療内容等の情報提供を行い、引き続き元の先生に診て頂いても問題ありません。

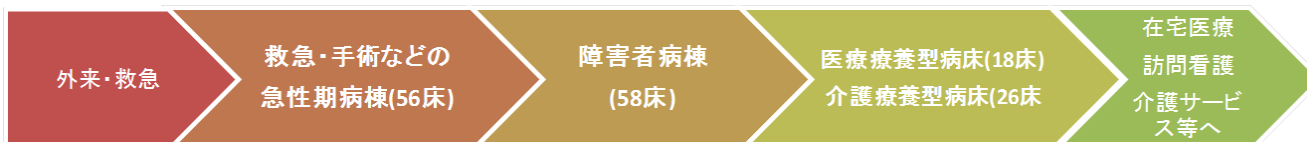
Q: 夜中にだんだんと痛みが強くなってきました。まだ我慢できそうですが、我慢できなくなるまで待った方がよいですか？

A: 夜中でも救急担当医が待機しておりますので、ぎりぎりまで我慢せずお越し下さい。

救急受診の連絡先

金井病院 代表電話（24時間）TEL：075-631-1215（代）

急性期から慢性期の入院まで → 転院先探しに苦労を少なくしたい



医療連携が進み、高度医療機関では、急性期を過ぎれば早期に退院する医療制度となっています。当院は、急性期を過ぎた患者様が必要とされる場合、当病院内での疾病、病状による病棟の移動や、京都医療センターや京都第一赤十字病院、洛和会音羽病院などの高度医療機関からの亜急性期、慢性期入院の受け入れを行い、住み慣れた地域でできるだけ継続した関係のなかで医療を提供できるようにしています。

病棟が変わっても主治医が変わらない仕組み 明るくきれいな病棟

急性期病棟から、慢性期の病棟に変わっても、原則として主治医が変わらない方針を取っています。その患者様の経緯を最もよく知っている主治医が、切れ目のない医療を提供します。リハビリも担当制を取っています。



病棟ごとに医療の質向上に取り組んでいます

3階急性期病棟：昼夜問わず救急で搬入された患者様、整形外科、外科、形成外科、耳鼻科の術前術後の患者様の受入を行っています。

4階障害者病棟：脊髄損傷等の重度障害者等の患者様に、専門性の高い看護を行っています。褥瘡を作らない看護、誤嚥性肺炎の予防のための口腔ケアなどを実施しています。

5階療養型病棟：地域の要望に応え、長期的な療養が可能な病棟です。社会福祉士、リハビリテーション科等と協力し患者様の在宅復帰を目指し努力しています。

住み慣れた地域で、身近な内科疾患、骨や関節・筋肉などの疾患をはじめ、子供から高齢者まで、専門性の高い外来診療を1か所で行っています。時間外、救急(24時間)も対応しています。

【朝診】月～土曜日：9時～12時 【外来診療担当表は、随時更新されます】

【休診】日曜・祝日・年末年始 但し、急患は24時間救急体制で随時受け付けます。

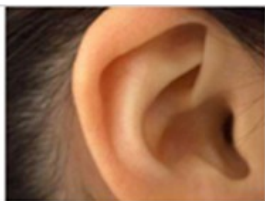
時 間	診 療 科 (室)	月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～ 12時	内 科 (総 診)		金井			金井	高橋
	内 科 (I)	八尾	杉山	酒井	西尾	酒井	西尾(彰)
	内 科 (II)	戸城	西尾	瀬戸	八尾	戸城	阿部
	循環器科(Ⅲ)						阿部(1)石井(3)
	呼吸器科(Ⅲ)						金井真(2.4)
	メンタル・禁煙(総)						
	エーシング(神)	金井(1)					
	生活習慣(神)						服部(1.3)
	糖 尿 病 (Ⅲ)		山野	岡崎	村岡		
	神内・もの忘れ		廣瀬			廣瀬	
	女性外来(総)	高橋綾子					
	脳 神 経 外 科		竹友				伊林(2)村上(4)
	小 児 科 (I)	神谷		東道	田村		神谷
	小 児 科 (II)	岡田					府立(1.3)
	外 科	谷口	國場	谷口	窪田	谷口	谷口
	整形外科(Ⅰ)	三浦	堀井	新井	三浦	劉	劉(1.2.3.5)
	整形外科(Ⅱ)	劉					中瀬(4)
	リハビリ外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	耳 鼻 咽 喉 科	杉田	平野	伊藤		金丸(1.3.5)	金丸(2.4)
						林(2.4)	石川(1.3.5)
	眼 科	山城	村岡	諸岡	熊谷		吉武
	皮膚・形成外科	沼尻	戒能(7月末終了)		西野		西野
							張(7/14～)
	泌 尿 器 科	中河(1.3.5)			上田		
	漢 方 外 来						金井成(2)
検 査	内 視 鏡 検 査	菊池	金(谷口)				前川・島
健 診	ヘルスプロモーション	金	岡田	岡田	劉	岡田	岡田
救 急	内 科 救 急 1	酒井	酒井		酒井	西尾	西尾
	内 科 救 急 2	西尾					戸城(2.4)
	外 科 救 急	谷口	國場	谷口	窪田	谷口	谷口
在宅医療(クリニック)				戸城	戸城		戸城(1.3.5)

午後	内 科 (I)				八尾		
	循環器外来(Ⅱ)	西川			西川(2.4)		
	眼科予約外来	万代(4)					
	糖 尿 病 (Ⅲ)		山野	岡崎	村岡		
	リウマチ外来 14時					北條(4)	
	小 児 科 14:30～16:20						
	予防接種 14:00～16:00	神谷			田村		
	生活習慣病(神)						服部(1.3)
	検 査	内 視 鏡 検 査	金				北岡(1.3.5)
	健 診	ヘルスプロモーション	八尾・岡田	岡田	岡田	劉	岡田
	救 急	内 科 救 急 1	酒井	酒井	酒井	西尾	西尾
		内 科 救 急 2					
		外 科	劉	三浦	谷口	窪田	谷口
	小 児 科						
在宅医療(クリニックから)		戸城	金井(4)戒能(1.3)	戸城	戸城	戸城	

平成24年9月1日現在

豊富な専門的医療を提供しています。 地域のかかりつけ医との連携も行っています。

鼓膜再生療法



鼓膜が破れている患者様に対する鼓膜再生療法を実施しています。この治療法は、世界に先駆けて行っている再生医学分野の新しい治療法です。

ボイスクリニック



「声がかすれる」「声がでにくい」「大きい声がない」「高い（低い）声がない」などの声の異常など、お気軽にご相談下さい。

神経内科 / もの忘れ外来



もの忘れは、脳梗塞やアルツハイマー病などの病気による場合もありますが、ストレスなど心身の変化によっても起こります。早期診断が大事です。

漢方外来



アトピー・喘息などのアレルギー疾患、リウマチなどの自己免疫疾患、女性の冷え症や更年期障害、その他、様々な疾患に対応が可能です。

糖尿病外来



糖尿病の治療は、血糖値・血圧・体重・脂質の4本の柱から成り立っています。

生活習慣病外来



病気を治すのはあなた自身です。私たち病院スタッフは、あなたの試みをサポートします。

女性外来



女性特有の症状でお困りの方を中心に診せていただいております。

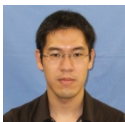
ワクチン外来



重症感染症の最も確実な予防は予防接種です。病気にかかることによって大きな合併症、後遺症あるいは命に係わることを未然に防ぐものです。

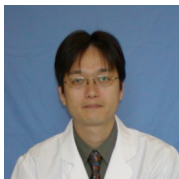
金井病院の経営者・管理者はこんな人 (人的資産)

淀の地域で、いつまでも健康に、いつまでも住み慣れた地域のなかで、医療・介護が受けられるように、金井病院、金井クリニック、訪問看護などを行っています。金井病院は、地域の中核病院として、いろいろな診療科を開設しており、遠方まで行かなくても、ひとつの医療機関で、多くの病気や医療相談が受けられるようにしています。

職名	氏 名	専門・経歴等	コメント
理事長	金井伸行 (内科) 	専門分野等；内科全般、総合診療、救急 初期診療、在宅医療 京都大学医学部卒業 専門医・認定医等： 日本救急医学会救急科専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 等	患者様の病気だけでなく、地域の皆様の健康不安の軽減や生きがいづくりにも、取り組んでいます。 特定の臓器に偏らず、患者様中心の「全人的医療」を行う「総合診療外来」を行っています。
院長	三浦清司 (整形外科・ リハビリテーション部長) 	専門分野等；整形外科、肩関節疾患 高知医科大学卒業 専門医・認定医等： 日本整形外科専門医 日本整形外科学会スポーツ医 日本リハビリテーション医学会臨床認定医	青少年のスポーツ疾患、成人の肩・腰・足の痛み、リウマチ疾患など、あらゆる整形外科疾患の診断、治療、入院医療を行っています。
看護部長	海老 成子 	当院看護部の一番良いところは、看護師間だけでなくコメディカルの方々との人間関係が良いことだと思います。看護職員の一人一人が自分の持てる力を発揮し、患者様に喜んでいただける看護が提供できるよう、働きやすい職場環境づくりには特に力を入れています。院内外の研修参加も支援しており、知識・技術の研鑽に努めていただきたいと思います。子育て支援制度も喜んでいただけるシステムとなっております。	
経営管理 部長	渡邊高志 	病院は地域にとって大きな社会資源であり安定した経営基盤が不可欠です。中長期計画推進に懸命に取り組みます。	
メディカルケア サポートセンター長	金井勇樹 	地域連携室、訪問看護ステーションひだまり、デイサービスセンター愛会、サービス付高齢者向け住宅それいゆを運営しています。さんせんが合流するように、私たちには利用者様と家族様と地域の方々をつなぐ役割があると思います。各事業所は皆様をつなぐ架け橋と考えています。地域の高齢者に訪れていただき、ぜひ色々な方々の居場所になっていただきたいと思います。	
経営管理 副部長	貞由憲男 	「もちつもたれつ」当院と地域との関係は、まさにそう言う関係であり、その中で地域の健康を守り、病気を予防し、安心と生き甲斐を提供する病院です。また、職員間も職種を超えた身近な関係が良好な関係を構築しています。今後更に地域の医療ニーズへの対応、収益性の確保、医療サービスの質の向上を進めていきます。	
医療技術 部副部長	森松宏和 	医療技術部では地域住民の皆様に貢献、奉仕できるよう心掛けていますが、そのためにコメディカルとして患者様またはそれに基づく医師の便宜をはかる努力をしています。また、そのことが病院の管理、経営方針に一致していると考えています。	

住み慣れた地域で安心と信頼の医療を提供（人的資産）

朝診は9時～12時、予約外来は午後13時～16時が、診察時間です。予約外来は、それぞれの診療科により、診察の曜日や時間が異なりますので、受診の際は、必ずご確認ください。

一般外来	専門医等
内科 医長：戸城仁一 (診療日：月金) 	内科医長：戸城仁一 出身大学：京都大学 内科では、6名の常勤医師により、患者様の心臓や高血圧などの循環器、胃腸や肝臓・膵臓などのお腹の病気、糖尿病などの生活習慣病、心身の不調などの診断、検査、治療を行っています。 また、救急センターを管理し、24時間365日の安心を支えています。 ■診療のモットー 1. 全身的な視野を持ち、成人のあらゆる内科的健康問題への対応を行います 2. 迅速で、患者様の満足度の高い外来診療を行います
救急センター センター長： 酒井久司 	救急センター長：酒井久司 淀で、唯一の2次救急医療機関として、24時間365日の救急対応を行い、初期救急医療、検査、入院、転送等を行っています。
内科 医師：西尾真季 (診療日：火木) 	出身大学：大分大学 専門、得意分野等：循環器内科、内科一般 当院では、往診、訪問看護等、患者様が退院されてからもサポートできる体制が整っています。 多くの医療スタッフと連携をとり多方面から患者様の健康、生活をサポートしていきたいと考えています。
外科 部長：谷口勝則 (診療日：月水金土) 	外科部長：谷口勝則 出身大学：奈良県立医科大学 外科は、京都府立医科大学消化器外科医局との連携により、胃がん、大腸がんは、元より、腹腔鏡手術、肛門手術、乳腺手術に力を入れています。
整形外科 医長：劉 和輝 (診療日：月金) 	整形外科医長：劉 和輝 出身医局：京都府立医科大学 整形外科では、首、肩、腰、手足等の骨や関節の痛みやしびれなどの症状全般の診断、治療を行っています。高齢者の増加により、近年は骨粗しょう症が増え、高齢者の骨折の手術や入院も増えています。また当院では、リウマチ専門医による専門外来を行っています。

病院理念を実現する若きリーダー (人的資産)

初期救急やプライマリーケアに取り組む医師や医療スタッフの育成に取り組む

【日本救急医学会認定 ICLS淀城コース】

ICLSとは、日本救急医学会が認定する医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。当院としましては、全職員が救命処置の出来る講習会を開催して一人でも救える命を助けていきたいと思っております。

【金井病院グループ 在宅研修プログラム】

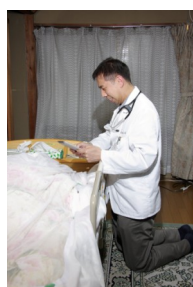
在宅ケアセンターを中心とした医師の研修プログラムを実施しています。当プログラムの最大の特徴は「地域の患者様を慢性期から急性期まで、無理なく継続して診療していただける」ことです。慢性内科疾患を持つ認知症や寝たきりの高齢者、悪性腫瘍終末期、神経筋疾患（筋ジストロフィー、大脳基底核変性症、パーキンソン病）、各種皮膚疾患、気切管理・回腸導管管理・経鼻胃管やPEG管理等、多様な患者様の訪問診療を行っています。

ITを活用した診療の質の向上にチャレンジ

病院理念である「疾病予防から治療まで」「急性期から慢性期まで」を切れ目なく地域医療・地域介護の実現を目指し邁進していくためには、「ひとりの患者様の情報をどう『SHARE（共有）』するかが課題です。金井理事長は、電子カルテを金井病院グループの情報インフラ（基盤）とすることで、淀域内に点在する病院やクリニック、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、デイサービスセンター、ヘルスプロモーションセンター（予防医療）などで、患者情報を安全に共有化する仕組みを作りました。

その結果、

- (1) 入院患者が在宅医療に移行する際が多職種連携がスムーズになりました。
- (2) 夜間・救急で病院に運ばれた場合、当直の先生がクリニックのカルテに素早くアクセスできるようになりました。
- (3) 人間ドック後の精密検査目的の外来診療がスムーズになりました。
- (4) 電子カルテとモバイルをクラウドで連携させることにより、訪問診療や産業医活動の時など、外にいるときでも電子カルテを参照したり書き込んだりできるようになり、また診療予約や検査予約をその場でとれるようになりました。



金井伸行（かない のぶゆき）理事長

医療法人社団 淀さんせん会 金井病院理事長、金井クリニック院長。

1999年京都大学医学部卒業。飯塚病院研修医、同総合診療科、洛和会音羽病院総合診療科、同救急救命センター（京都ER）を経て2007年5月より現職。

【資格】

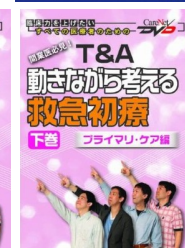
日本救急医学会 救急科専門医、日本内科学会 総合内科専門医、日本医師会 認定産業医、臨床研修指導医、ACP（米国内科学会）member、T&A 動きながら考える救急初療コースコアインストラクター

【著書】

『新IT医療革命』（アスキー新書）Team 医療3.0著（共著）

『ITが医療を変える』（アスキー・メディアワークス）Team 医療3.0著（共著）

『T&A動きながら考える救急初療 プライマリケア編』（ケアネットDVD）（共著）



独自の地域健康増進活動を創造する 医師やスタッフ（人的資産）

【地域健康増進活動の目的】

医療関係者と地域住民が集まる場を作ることによって、健康に関する生のコミュニケーションが増えます。地域住民の健康作りを促進し、患者様自身が疾病・健康状態を理解し改善できるようになることを目指しています。



地域健康増進活動



【多様な地域健康増進活動が生まれている】

<水中ウォーキング>

医師を中心に医療スタッフと共に水の中を音楽に合わせてウォーキング・エアロビクスするイベントです。体力向上や維持のため、子供から高齢者まで体力を問わず楽しまれており、膝関節痛や腰痛などの疾患に対し、関節への負担が軽く、血行促進・筋力の向上も期待できます。

<「京歩2011」健康歴史ウォーク>（2012年3月京都マラソン応援イベント）

京都マラソンコースを医師とウォーキングするイベントです。国際文化観光都市・京都の魅力を満喫できるコースですが、高齢者の場合、多くの人は参加したいにも関わらず、42.195kmの完走が困難です。そこで、実際のマラソンコースを6回にわけて医師とウォーキングすることで、安全・安心にコースを完歩しました。

<健康歴史ウォーク>

医療者と寺・神社といった京都の伝統的な町並みをウォーキングします。適度な運動を行うことで疾病の予防や健康増進を図ると共に、京都の魅力を再発見、また疾病の早期発見・早期治療に貢献します。

<里山ウォーキング>

医療者とともに、大文字山や愛宕山といった京都の山々を登るイベントです。

<グラウンドゴルフ>

医療者と一緒にグラウンドゴルフを行うイベントです。

<地域健康教室>

医師が中心となって、地域住民の皆様向けに健康教室を行うイベントです。疾病の知識・理解が深まることで、セルフメディケーションの推進や疾病の早期発見・早期治

劉 和輝（りゅう かずてる）医師

◆劉和輝医師は、運動器疾患のプロである整形外科専門医・スポーツ医として、医療を急性期から在宅まで幅広く地域住民に実践しています。また治療だけでなく患者様の心もケアできる「おもてなしの心」を大切にしています。おもてなしは英語でHospitalityとも言いますが、Hospitality（おもてなし）が派生しHospital（病院）の語源となっております。院内だけでなく地域の皆様も疾患の予防や早期発見・早期治療のために参加できる水中ウォーキングなど様々な地域健康増進活動を企画運営する中心となる人です。医療と地域を繋ぐ架け橋として、一層の交流と「絆」を深めています。

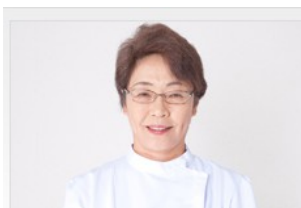
<http://kyoto-city-omotenashi.jp/>



チーム医療を担う人材たち①（人的資産）

看護部門

多様な外来、急性期入院から慢性期入院まで支える金井病院の原動力



看護部は助手、看護学生を含め140名です。構成は①外来救急科（手術中材内視鏡科を含む）②急性期病棟、③障害者病棟、④療養型病棟の4つです。また、地域の在宅医療の拠点として⑤訪問看護ステーション「ひだまり」があります。

当院看護部の一番良いところは、看護師間だけでなくコメディカルの方々と人間関係が良いことだと思います。看護部の教育研修は、院内の医師、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士、言語聴覚士等、他職種の方々に専門分野の講師として協力していただいています。

チーム医療の実践！

1人の患者様に多職種による回診を行い、それぞれの専門能力が最大に発揮され、患者様の一日も早い健康回復に役立っています。

人材の魅力

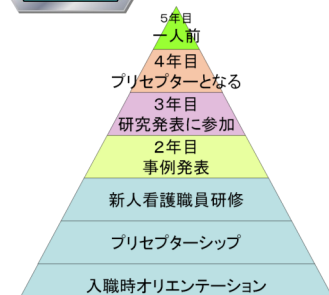
- 複数の診療科が経験でき、幅広い知識と技術を身に付けた看護師が多い。
- 看護師同士のコミュニケーション、看護師と介護職員のコミュニケーションが良い。

人が成長する職場づくり

主な教育体制

- **新人教育**：看護師の新人教育は、教育委員とプリセプター制度との連動により行っています。
- **現任教育**：年間研修プログラムを作成し、これに沿って院内研修会を開催しています。医師や理学療法士、検査技師など他職種の方々にも講師をお願いしており、看護職員としての役割遂行力を高め、患者ケアの質向上に役立てています。
- **潜在看護師職場復帰プログラム**：仕事にブランクがある看護師の方を対象に、経験年数やその方のキャリアに合わせたプログラムを作成し、指導を丁寧に行っています。
- **ICLSコース受講**：病院内での心肺蘇生法を学ぶ、日本救急医学会認定の「ICLS淀城コース」を、ICLSプロバイダー資格をもつ医師・看護師・病院スタッフがインストラクターとなり、定期開催しています。当院では、全看護師がICLSコースを受講することを目標としています。
- **看護補助者の資格取得**「介護福祉士」取得を促進する人材育成の仕組みがあります。

図. チーム医療のイメージ



チーム医療を担う人材たち②（人的資産）

リハビリテーション科

患者様おひとりおひとりの担当制を取っています



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、機能訓練技能士（マッサージ師）、柔道整復師、健康運動療法士の充実したリハビリ専門スタッフで、疾患別リハビリテーション（脳血管疾患Ⅰ・運動機疾患Ⅰ・呼吸器疾患Ⅱ）だけでなく、摂食嚥下機能療法や介護療養型のリハビリにも力をいれて、急性期から回復期、生活期、在宅までスタンスの長いシームレスなリハビリテーション、また退院前訪問・訪問リハビリテーション等を含む「総合的リハビリテーション」を実践しています。

【理学療法とは】

病気や怪我により、日常生活に支障をきたした患者様に対して、起き上がり、立ち上がり、歩行などの「動く」という基本的な身体能力の回復を図り、1日でも早い社会復帰を目指します。

【作業療法とは】

作業には、労働や日常生活はもちろん、趣味や遊び、創造活動など人が人として生きていくのに必要なあらゆる活動が含まれ、これら全ての作業が一人ひとりにあった活動の手段や達成目標となります。

作業療法では、身体または精神に障害のある患者様、またはそれが予測される患者様に対して、よりその人らしい積極的な生活を送るため、身体機能の回復・維持及び開発を促す作業活動を用いて、患者様の笑顔を取り戻します。

【言語聴覚療法とは】

ことばや声といった言語・音声機能や聴覚機能、また食べる・飲むといった摂食嚥下機能に障害を持つ患者様に対し訓練・援助を行います。人とのコミュニケーションを大事にし、安全に食事が摂れるように、患者様の健やかな生活を取り戻します。

【機能訓練技能士（マッサージ師）とは】

様々な物理療法やマッサージによる手技を駆使して、患者様の身体の痛みを軽減しています。また、介護療養型の患者様には、理学療法を習得した技術を生かして、身体機能の改善や生活のリラクゼーションに力を注いでいます。

地域の患者様を大切にしています

おひとりひとりの患者様に最適なりハビリテーションが提供できるように、**患者様やそのご家族様へリハビリテーションの説明を大事**にしています。医師・看護師・その他関係スタッフとのカンファレンスや研修会だけでなく、時には手術の現場に立ちあうなど、病気や治療に対する理解をより深め、幅広い知識や患者情報の共有を進めていく中で、患者様やご家族様に納得していただける、人間愛に根ざした良質なりハビリテーションに取り組んでいます。

チーム医療を担う人材たち③（人的資産）

放射線科

どんな時も依頼に応える！



放射線技師6名体制で、24時間365日の体制を築いています。救急、入院、健診、移動撮影など、どんな場面でも、依頼に応えています。当直も常勤が行っています。

乳がん検診は、マンモグラフィ認定の女性技師が対応しています。

臨床検査科

多種多様な検査のニーズに応えています

検査のエキスパートである5名の臨床検査技師がさまざまな検査に対応しています。安心安全な医療のお手伝いとして、検査データ異常値・感染症疾患の監視役や医療機器管理整備などにも重点をおいています。



外来迅速検査は診療の要

迅速検査なら採血後、約30分で検査結果がわかります。

地域連携室

地域の住民や関係機関との

開かれた窓として活躍



3名の常勤ソーシャルワーカーが、地域に出かけて、医療や介護の相談、受診や入院の支援、退院や転院の支援を行っています。

京都おもてなし大使に任命！

整形外科の劉先生とともに、経営管理部の森口が、京都おもてなし大使に任命されました。病院内に留まらず、淀地域や京都に住んでよかったと言ってもらえるよう病院の外でも、活躍しています。

医事・情報センター

病院受付や病院を支える裏方として活躍しています



医事係・事務部門は、管理者を含め、ベテランぞろいの常勤7名、非常勤7名の体制で業務を行っています。病院受付として、笑顔を決やさず、患者様に安心と信頼を持っていただけるようにしています。病院を支える裏方として、患者様の情報管理の資格者である診療情報管理士2名を配置しています。電子カルテの導入により、会計の待ち時間が大幅に短縮されました。

チーム医療を担う人材たち④（人的資産）

薬剤科

病気を治療していくにあたり薬のより良い効果を得るためには、薬の飲み方、使用方法、効用（薬の働き）、副作用を十分に理解して頂いた上で服用して頂くことが大切です。当院では、薬剤師が患者様のもとへ直接伺って、服用中の薬を説明し、患者様自身が薬の必要性を理解してもらい、また薬に興味を持ってもらい、正しく服用して頂けるようにお手伝いしています。



病院薬剤師はこんな仕事をしています！

- 外来・入院の調剤：処方内容の不備や不明な点がないかチェックし、処方箋に基づいてお薬を調剤します。また患者様やご家族様に、お薬に関する情報提供やお薬の相談を行っています
- 薬の適正使用：患者様に薬が適正に使用されているか（併用禁忌はないか、副作用が発現していないか、相互作用の心配はないか等）のチェックや、患者様が薬の正しい知識を持ち、服用して頂ける為の指導を行っています。
- 入院患者様ごとの注射薬の取り揃え
- 高カロリー輸液や化学療法剤の無菌調整（感染予防や被曝予防への取り組み）
- 薬に関する様々な情報の収集・提供（医療従事者からの問合せ対応）
- 薬の購入、管理（麻薬、覚醒剤原料の管理も含む）
- 新しい医薬品の開発に欠かせない治験（臨床試験）の管理業務も行っています。

病態栄養科

管理栄養士はこんな仕事をしています！

病態栄養科では、常勤1名、非常勤1名の管理栄養士で患者様の栄養管理を行っています。栄養指導では、患者様のライフスタイルに合わせたプランを一緒に作成しています。入院時には、チーム医療の一員として、患者食等を媒体に食事療養の理解を深め、退院後の生活に生かせるよう支援しております。

最近では、退院前の嚥下困難の患者様に、嚥下食の作り方、ポイントなども提供しています。入院生活に大事な食事に関しては、嗜好調査やベットの訪問等患者様の声を聞き取ることにより、管理栄養士、調理師等協力して季節感のある美味しい食事を提供できるよう心がけています。



金井病院グループの関係資産

関係資産とは、組織の外部との関係性の中に、魅力や強みがあるものをいいます

外部の医師との信頼関係

- 長く外来を勤めて頂いている先生の診療科として、皮膚科や脳神経外科などがあります。
- 病院スタッフと、医師との間で、信頼関係ができています。
- 昭和52年に金井医院を開設した金井武雄院長が、自らの足で築いた病院やそれぞれの医師との信頼関係が基礎となっています。

医療連携

高度専門的な医療が必要となったときに、当院から紹介や転院していただく連携と、高度専門医療機関から、当院への入院や在宅での医療を受けるときに、スムーズに連携できるよう普段からの信頼関係づくりや、地域医療連携室の活動を行っています。

主な連携先医療機関

京都医療センター、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学医学部附属病院、洛和会音羽病院など、高度先進医療機関と連携し、当院から5分～30分程度で転送できます。

地域でご開業の先生と連携して、当院での検査や入院等を、当院の医師と共同で行う仕組みがあります。訪問看護ステーション「ひだまり」は、地域の開業医とも連携しながら在宅医療を提供しています。

医療介護連携

- 当地域にある特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型病院と連携が出来る信頼関係が築かれています。
- 金井病院グループとして、デイサービスセンター、サービス付き高齢者向け住宅など、住まいの安心サービスを提供しています。

在宅療養あんしん病院登録システム

かかりつけ医からあらかじめ必要な情報を登録しておくことで、在宅療養中の高齢者が体調を崩し、在宅での対応が困難になった時に、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるシステムです。本システムは、早めの対応により、病状の悪化や身体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活を続けることを支援します。



大切にしている淀地域とのつながり

病院の理念が実践されている地域活動

「みんな集まれ健康広場」は、平成6年から、毎年1回開催されています。ミニ人間ドック、無料健康相談を始め、コンサートや模擬店など、みんなが楽しめるイベントとして地域に定着しています。

地域主催のグランドゴルフ大会に参加したり、淀地域の3つの自治会と病院幹部が意見を交換する**地域懇談会**を、年に1回開催し、地域の皆様のご意見をお伺いし病院運営を行っています。

第16回

みんな集まれ健康広場

と き

平成**22**年**10**月**31**日(日)
10:00 ~ 13:00 雨天中止
お問い合わせ Tel. 075-631-1215

と ころ

淀 城 跡 公 園

模擬店(有料)

おでん・からあげ・フランクフルト・豚汁・
綿菓子・アイス 他

お楽しみコーナー

パルーンアート、木工教室、健康相談、
鷗翔アンチエイジングドック 他

催 し 物

フリーマーケット
健康歴史ウォーク(有料)
講師：京都文教大学 小林 先生
淀製菓店を元える会会員

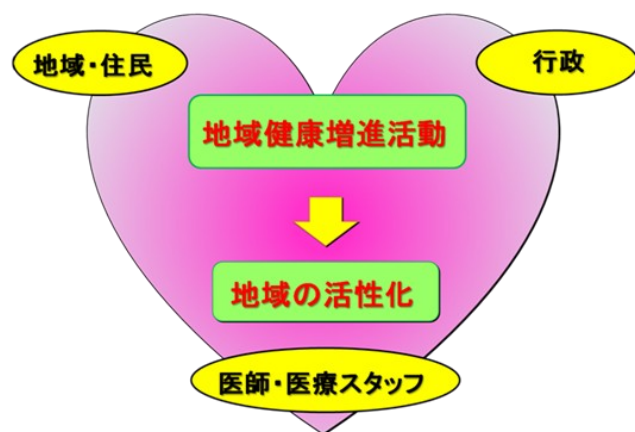
ステージコーナー

10:00~ 開会宣言・銭太鼓・健康体操
10:30~ 大淀中学校吹奏楽スペシャルメドレー
11:00~ 戦隊ヒーローショー(保育士ヒーローブレイク)
11:30~ アテネ五輪 バタフライ 銅メダリスト 中西 悠子 さん
アテネ五輪について雨天の場合、金井病院管理棟4階会議室で行います。
12:30~ 洛水中学校吹奏楽スペシャルメドレー

主催：医療法人社団 淀さんせん会 金井病院



地域の健康や活性化に貢献



三位一体の地域健康増進活動

患者様が、来院されるのを待つばかりではありません。

劉和輝医師を中心に、医師・医療スタッフが積極的に地域へ出向いて、地域住民の健康づくりや予防活動に取り組んでいます。

こうした医師主導の地域健康増進運動のイベントが高く評価され、京都市から「京都おもてなし大使」に任命されました。

京都市など行政の活動やイベントと地域住民の参加、健康を支える医師・医療スタッフが、三位一体となって、他の地域ではみられない健康増進活動を展開しています。

淀地域から、健康増進による地域の活性化を目指しています。

地域の若者を育てたい

さんせん奨学金制度

「さんせん奨学会」は、淀地域の有志により2002年に設立されました。勉学意欲旺盛な地域の高校生に、地域の有志の方々とともに奨学金を支給し支援しています。当地域から有為な人材を育英・輩出し、将来何らかの形で地域に貢献することを目的としています。桂川・宇治川・木津川の「三川(さんせん)合流地」であることにちなんで「さんせん奨学会」と名づけられたものです。

奨学生は、地域のデイサービスセンターや特別養護老人ホームなどの福祉施設での話し相手や、施設内のレクリエーションの参加手伝い、また、町のごみ拾い活動など、ボランティアや福祉活動にも取り組んでいます。これからも地域の青年を大事に育てることが私たちの使命であり、夢に満ちあふれた明日の淀の歴史を形づくることにつながれば、最上の幸せです。



奨学生による介護福祉の疑似体験

金井クリニック

金井クリニックは、駅前の便利な場所で外来を行う診療所です。

クリニックの概要

診療内容	外来診療（内科・小児科（夜診））
外来診療	診療日：水曜午前 8:30～12:00 / 土曜午前 8:30～12:00（予約制）
訪問診療	診療日：月・火・水・木・金・土曜（時間帯はお問い合わせください）
連絡先	〒613-0904 京都市伏見区淀池上町151-19 TEL：075-632-0660 / FAX：075-632-0666

金井病院在宅ケアセンター

－在宅医療の充実を目指して－

平成24年7月より、金井病院は、在宅療養支援病院となりました。在宅療養支援病院とは、24時間365日体制で訪問診療または訪問看護などの在宅医療を行い、患者様の在宅療養をサポートする病院のことです。更に、入院設備を持った病院が行っていますので、緊急時だけでなく必要に応じて検査入院等も可能です。

地域医療の要はこんな人（人的資産）

理事長：金井伸行
内科医師：戸城仁一



在宅医療における情報活用体制（構造資産）

グループ間での情報機器の活用：

金井病院の電子カルテが、ネットワーク上で参照できるので、様々な記録や連絡事項を、金井病院、訪問看護ステーション、調剤薬局と円滑に情報が共有できます。情報の伝達ミスがなくなり治療方針等が共有されやすくなりました。



金井病院グループ、豊富な医師との連携（関係資産）

救急対応のできる金井病院救急センターを始め、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所などの介護事業所との連携が、スムーズにできます。

訪問看護ステーション『ひだまり』

住み慣れた地域と在宅での「医療」を支える 医療と介護の看護の拠点

介護保険の訪問看護サービスは、訪問看護が必要な要支援・要介護の方に提供されます。また、これらの要介護者等であっても、末期がん、厚生労働大臣が定める疾病等、急性増悪期の訪問看護は医療保険から訪問看護を受けることになります。さらに、介護保険の対象外の方であっても、主治医の指示により医療保険から訪問看護サービスを受けることができます。

訪問看護はこんな人（人的資産）

- 勤続年数が10年以上になる人材が、6名中4名いるので地域や患者様のことをよく知っています。
- 看護師としての職歴が15年以上になる人材が4名いるので、どんな疾患でも、対応できる知識・技能・経験があります。
- 訪問看護に、理学療法士の常勤が1名いるので、訪問リハビリの質が高いのが特徴です。



訪問看護の構造資産

- 通常の業務時間以外に、24時間365日の連絡体制をとり、地域住民の急変についても、迅速に対応でき、地域に安心を提供しています。
- iPhone、googleドキュメントの機能を使い、金井病院の医師との情報交換を迅速にできるようになり、質の高い看護に役立っています。
- 訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所が併設されているので、医療保険と介護保険の訪問看護の適切な利用ができます。

訪問看護の関係資産

地域の老人会や高齢者向けマンションなど（エイジングコート等）入居者の方々に、介護セミナー、健康セミナーを企画開催し、地域の健康意識の向上に貢献しています。

看護学生の育成を支援：

京都医療センターや京都看護学校の学生の在宅医療の実習を行っています、

訪問看護ステーション『ひだまり』

営業日・ 営業時間	月曜日～金曜日 午前8：30～午後5：00
	土曜日 午前8：30～午後1：00
	※日曜日・祝日及び年末年始（12/30～1/3）はお休みです ※病状の変化や療養に関する相談は、24時間連絡が可能です
問い合わせ先	〒613-0911 京都市伏見区淀木津町 1 9 7 - 1 エイジングコート淀城公園 1 階 TEL：075-631-8707 FAX：075-631-8720

居宅介護支援事業所『ひだまり』

住み慣れた地域と在宅での「暮らし」を支える 介護の連携拠点

介護支援専門員（ケアマネジャー）が要介護認定等を受けられた方に対し、在宅で介護保険サービスを利用される際に必要な【居宅サービス計画】の作成を支援し、介護サービスの提供が確保されるよう相談・連絡・調整等を図ります。

ケアマネジャーはこんな人（人的資産）

- 原則として地域からの新規依頼を断らない方針です。常勤3名のケアマネジャー体制を取っています。
- 医療機関併設で、訪問看護と同じ場所にあるため、介護保険は当然として医療知識が豊富な人材が揃っています。



居宅介護支援事業所『ひだまり』の構造資産

人材育成、質の向上の仕組み：

訪問看護は週に1回、居宅介護は、月に1回の勉強会、ケースカンファレンスを定例化しています。

働きやすい職場の工夫：

家庭と両立して働き続けられるよう、子供の参観日などの交代など、職員同士で協力しあうなど、職員の仲がよく、明るい挨拶が飛び交う職場です。

居宅介護支援事業所『ひだまり』の関係資産

- 金井病院グループに留まらず、地域の医療・介護の連携を図っています
- 京都医療センターなど高度専門医療機関や地域の開業医、介護事業者と連携しています

居宅介護支援事業所『ひだまり』

営業日・ 営業時間	月曜日～金曜日 午前8：30～午後5：00
	土曜日 午前8：30～午後1：00
	※日曜日・祝日及び年末年始（12/30～1/3）はお休みです。
問い合わせ先	〒613-0911 京都市伏見区淀木津町 1 9 7 - 1 エイジングコート淀城公園 1 階 TEL：075-631-8707

ヘルスプロモーションセンター

地域住民の皆様が、健康づくりを楽しみ、その活動を通して命の大切さを知り、生活の豊かさを味わい、人生の意義を学び、そして幸せを実感できればという願いから、ヘルスプロモーションセンターは誕生しました。

ヘルスプロモーションセンターの概要

ヘルスプロモーションセンターでは、ドック（半日）や乳がん検診、企業・団体健康診断活動を実施しています。

受診後は金井病院グループで継続的なアフターフォローをさせていただきます。



多様なプラン設定と柔軟な訪問体制（構造資産）

平成22年4月にリニューアルオープンし、ニーズにあわせた多様なプランを提供しています。企業や団体の従業員様の健康、保健、健診活動を行っています。また、当センターでは、ITを駆使し、電子カルテとの連携、業務の効率化と情報共有の推進を徹底し、病院とのシームレスな連携を図っています。

- ・人間ドックセレクトプラン（半日ドック）
- ・乳がん検診（京都市乳がん検診指定医療機関）
- ・企業・団体健康診断活動
- ・嘱託産業医活動
- ・協会けんぽ生活習慣病予防健診実施医療機関
- ・特定健診
- ・巡回健診

地域住民・行政・企業との連携（関係資産）

「みんな集まれ健康ひろば」や「水中ウォーキング」をはじめ、多様な健康増進のためのイベントを通じ、地域住民、企業、行政と連携しながら、住民や従業員の方々の健康増進の向上を進めています。

顧客視点と経営意識（人的資産）

当センターでは、女性技師によるマンモグラフィ検査を実施しています。健康増進事業を持続的に発展させるため、職員の顧客視点ならびに経営意識の向上に努めています。

職員一同、笑顔を大切にし、検診の際に待たせずにご案内することをこころがけ、万が一、待って頂く際には、目安の待ち時間をお伝えしています。

マンモグラフィ検診施設画像認定証



デイサービスセンター『^{あいあい}愛会』

生活リハビリを中心に、「在宅でいつまでも暮らし続けられるように」をモットーに、新しいアイデアもたくさん取り入れています。

デイサービスセンター「愛会」の概要

退院や退所をした方で要支援・要介護状態の方々や、介護を必要とする方への食事・入浴・機能訓練を提供し、生活の自立や心身機能の維持、向上および家族の方の精神的、身体的負担の軽減をはかります。

御希望により「入浴サービス」、「個別機能訓練」を提供しています。利用者毎の機能訓練プログラムを作成し、身体機能の維持又は自立支援、介護予防に努めています。

時間：月～土曜 午前8時30分～午後5時

お問い合わせ：TEL/ FAX 075-631-4313（直通）



生活リハビリとして過ごしやすい工夫を（構造資産）

生活リハビリとして過ごしていただく工夫

生活空間をあえてバリアフリーにしすぎずに、段差や手すりのない場所を設けています。これにより、本人の注意力や筋力を引き出し、心身の機能向上に役立ち、自宅に帰られて、応用できることを大切にしています。

多様な過ごし方、楽しみ方がある

カルタ、花札、けん玉、ちぎり絵、家事の手伝い、ボランティアによる活動など、多様な楽しみを提供しています。

iPadなど最新の機器を使った楽しさを体験できる

iPadを使ってyoutubeなど、インターネットを楽しむことができます。

金井病院との連携、地域住民との交流 （関係資産）

一人ひとりを大切にしたレクリエーションの様子



愛会（あいあい）は、金井病院との密な連携体制が図れていて、万が一、何かあってもすぐに医療を受けられる体制が整っています。

地域住民の方々との交流機会が多く、淀地域の婦人会の月2回のボランティアや近隣住民によるマンドリン演奏会などが行われています。

専門スタッフが豊富 （人的資産）

愛会（あいあい）のスタッフは、全員で8名であり、その8名中、介護福祉士4名、看護師2名が常勤です。

若いスタッフが多いこともあり、利用者様からみて、孫のように思っただけのことも多く、ご自宅のように過ごしやすいと、お言葉をいただいています。

発想が豊かな若手スタッフが多く、まずやってみようとする意欲が高く、スタッフにとっても働きがいや、やりがいがある職場環境があります。

サービス付き高齢者向け住宅『それいゆ』

「それいゆ」は、自分の居心地のいい場所で自分らしく過ごす。必要な医療や介護サービスを利用しながら安心して毎日が送れる。“ハートフルコミュニティホーム”「それいゆ」は、「太陽のもとで元気に咲き誇るひまわり」をイメージして創られました。

「それいゆ」の概要

金井病院グループより、在宅医療サービスをサポートしており、緩和ケア、ターミナルケアが必要な方も入居いただけます。10戸のアットホームな環境でお過ごしいただけます。

ご利用料金：月額165,000円（食事代込み）

入居時一時金：16万円

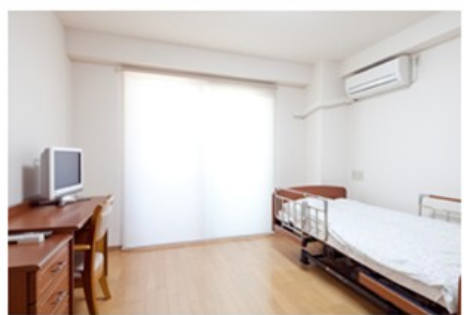
〒613-0912 京都市伏見区淀川顔町445

お問い合わせは、TEL/FAX：075-631-8728 まで

「それいゆ」の玄関



「明るい居室」



安心して毎日過ごせる体制（構造資産）

「それいゆ」では、金井病院グループより、在宅医療介護サービス（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・通所介護）を提供できる体制が整っています。

居室には、ベッド、TV、ドレッサー、冷蔵庫、洗濯機を完備し、要介護者のために介護浴槽を完備しています。食事サービスは、治療食も含め対応いたします。

金井病院の連携 （関係資産）

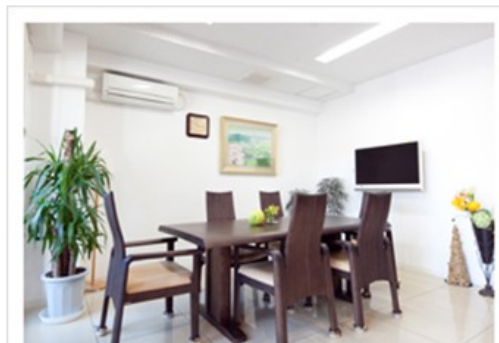
「それいゆ」では、金井病院グループから、在宅医療および介護サービス（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・通所介護等）をサポートできる体制が整っています。



安心で安全な生活が送れるように （人的資産）

「それいゆ」では、管理人が、24時間常駐しています。万が一、何かあったときには、金井病院の専門医や専門スタッフによる訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・通所介護などを受けることができます。

だんらんのある食堂



金井病院の沿革（創業から現在まで）

創業期	昭和52年4月4日	初代理事長 金井武雄により金井内科医院を開設。
拡大期	昭和59年2月13日 ～ 昭和59年2月13日	金井病院（60床,内科,消化器科,循環器科等）を開設。 その後、徐々に拡張し、昭和63年3月には212床に拡大した。
内部変革期	～ 平成18年ごろ	平成9年に201床に減床。MRI導入。療養病床導入。 平成10年197床に減床。脳外科、泌尿器科、リハビリテーション科などの充実を図る。 平成12年からの介護保険制度施行に対応して、デイケアなど介護事業を開始する。
組織改革期	平成18年4月 ～ 現在に至る	医療法人社団淀さんせん会として医療法人化。 平成19年、第2代理事長に、金井伸行が就任する。救急医療の充実や、地域医療の充実に向けた取り組みを強化する。 平成23年に電子カルテの導入を行い、グループ間の情報共有を通して患者サービスの充実を図る。

金井病院の経営ビジョン（現在から未来へ）

淀地域に、一層密着し、必要とされる医療、介護、健康づくりの中核拠点となる。

【これからの3年間の取り組み方針】

- 在宅医療の充実、患者様、ご家族、地域のニーズに密着し、どんな時も最も頼りにされる病院でありたい
- 内科、整形外科を充実させ、地域のスポーツ医学の振興、高齢者の健康増進を支援する
- 情報システムの活用で、中小病院の経営効率化の先進例になりたい
- 在宅医療に取り組む医師、看護師、薬剤師、介護士などの人材育成機関でありたい
- 地域病院としての経営効率化に取り組む

【課題の克服】

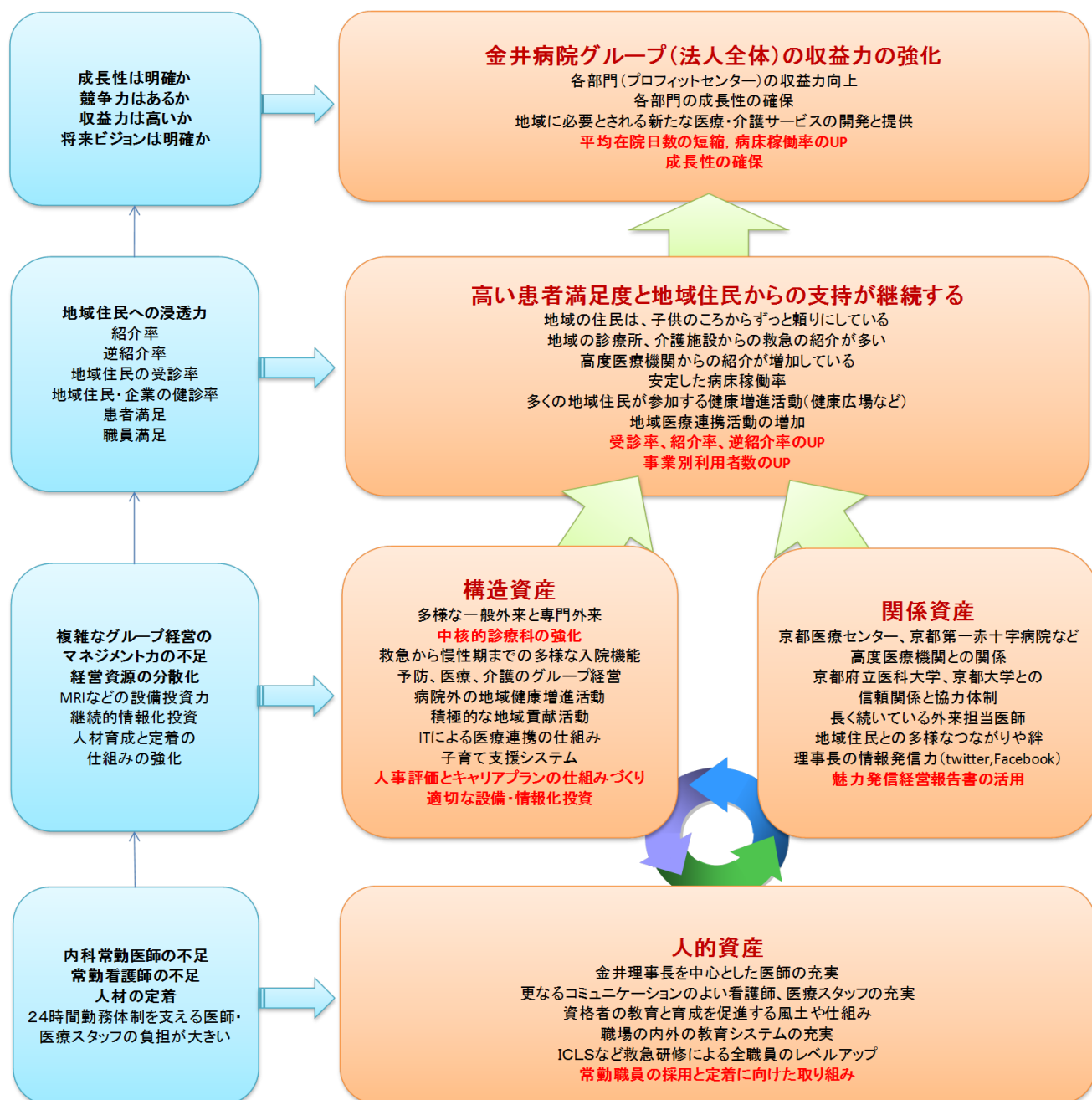
- 活動状況と成果の見える化：様々な活動を評価する仕組みの構築
- 健全なグループ経営と良質な医療介護事業の両立
- 地域からの支持率アップ
- 競合医療機関が入ってこれない強みの構築（地域ナンバーワン）
- 地域の開業医との連携強化
- 介護事業所との連携強化（入院、退院の連携強化）
- 人材の継続的採用と評価・育成の仕組みの強化

知的資産マップ

医師や看護師等の人的資源が、定着し成長する組織づくりを行います。人材の負担を軽減する情報化投資や機能性の高い医療を行うための設備投資を継続的に行うためには、適正な収益と成長が必要となります。また地域連携、病病連携を活発に行い、地域住民の方々から、引き続き支持され期待される医療・介護グループとなっていきます。

経営課題

成長戦略



アクセス



住所	京都府京都市伏見区淀木津町612-12
TEL	075-631-1215 (代)
FAX	075-632-2658
交通案内	【電車でお越しの方】 ・京阪本線「淀駅」下車。徒歩約7分。 ● J R 「京都駅」から 近鉄京都線に乗り、約8分の「丹波橋駅」より京阪本線に乗りかえて、約8分 ● J R 「大阪駅」方面から 大阪環状線に乗り、約5分の「京橋駅」より京阪本線に乗りかえ、約30分 【お車でお越しの方】 ・名神高速「大山崎I.C.」より約5分 ・京滋バイパス「久御山淀I.C.」より約5分

あとがき

魅力発信経営報告書について

1. 魅力発信経営報告書とは

この魅力発信経営報告書は、経済産業省から平成17年10月に公表された「知的資産経営の開示ガイドライン」に準拠して作成されています。「知的資産経営の開示ガイドライン」をベースに、医療および介護事業者が適応する経営報告書として作成しました。

魅力発信経営報告書は、数値では表わしにくい経営資源＝知的資産を、患者様、職員、取引先等の関係者に対し、事業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として、目に見える形で分かりやすく伝え、事業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

2. 「知的資産」とは

決算書などに記載されている資産以外の無形の資産であり、経営力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、関係先とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。

この魅力発信（知的資産）経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附随する事業見込みなどは、すべて当事者の判断にて記載しております。そのため、将来に亘り当法人を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当法人が将来に亘って保証するものではないことをご了承願います。

3. 魅力発信経営報告書の作成にあたっては、本書記載内容につき、その客観性を維持・向上させる趣旨から、次に掲げる専門家のご支援・ご監修を賜りました。

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

日本医療経営機構

〈魅力発信経営プロジェクトチーム〉

今中雄一

田中将之

宇川直人

船本智睦

大石孝太郎

成岡秀夫

「さんせん」の由来

桂川、木津川、宇治川、この3つの川が交わることにより淀川となります。
淀の町は「三川（さんせん）」合流の地であり、この地に集う地域住民の皆様とともに歩む金井病院の存在があります。



「春望三川合流」（志村 正 画伯作）



「清辰淀城址」（志村 正 画伯作）

淀さんせん会 絵画ギャラリーより